

可児市 橋梁長寿命化修繕計画

平成31年1月

可児市建設部土木課

1. 橋梁長寿命化修繕計画とは

橋梁は年とともに劣化や損傷が生じますが、それらが進行して大きな被害が発生しないよう、点検と修繕工事（再塗装やひび割れの補修など）を行う必要があります。

本計画は、限られた財源の中で通行の安全性を確保し効率的な維持管理ができるよう、点検や修繕工事などの予定を示した計画です。

2. 可児市の橋梁概況

可児市が管理する橋梁は、全部で264橋あり（平成30年3月現在）、これらの橋梁のうち、現時点において約12%が建設後50年を超えています。これが10年後には60%以上となる見込みであり、老朽化への対応が必要です。



3. 計画対象橋梁

本市が管理する全ての市道橋梁（2m以上）を、長寿命化修繕計画の対象橋梁とします。

（別添）可児市管理橋梁一覧参照

4. 計画期間

5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、平成30年度（2018年度）～平成35年度（2023年度）の6年間を計画期間とします。なお、点検結果等を踏まえ、適宜計画を更新していきます。

5. 対策の優先順位の考え方

道路施設の損傷などによる社会的影響度を考慮するため、点検結果の判定区分や路線の重要度により優先順位を決定します。また、橋梁架設年度や対策工事の平準化等も順位決定に際し考慮します。

6. 個別施設の状態等

個別施設ごとに5年に1回の定期点検を行い、施設の状態を把握します。また、点検結果を適宜更新します。

（別添）可児市管理橋梁一覧参照

7. 対策内容の実施時期

5. 対策の優先順位の考え方に基づき、対策実施時期を決定します。なお、毎年実施する定期点検結果を踏まえ、適宜実施時期を変更します。

（別添）可児市管理橋梁一覧参照

8. 対策費用

（別添）可児市管理橋梁一覧参照